

1997年5月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、極付近を中心とした正偏差が、グリーンランド方面、シベリア方面、北アメリカ方面と3方向に延びていた。また、カムチャッカ半島付近、北太平洋東部、カナダ東部、スカンジナビア半島付近は、負偏差に覆われた。850 hPaにおいて、インド洋から太平洋中部にかけて南北両半球に低気圧性偏差の循環が見られ、赤道付近は西風偏差が卓越した。200 hPa の発散場を見ると、大規模な発散域の中心は160°Eから日付変更線にかけての赤道付近に見られ、平年の位置より30度東偏した。

世界の天候

① 西シベリアと東アジアの高温

アジアでは引き続き月平均気温が高いところが多く、特に西シベリアと中国・日本で高かった。中国の南京で月平均気温23.0°C (平年差+2.8°C)。

② 中央シベリアから日本にかけての多雨

中央シベリアから日本にかけてと、中央アジアで月降水量が多かった。一方、中国の中・南部からインドシナ半島、インドにかけて少雨となった。

③ ヨーロッパ西部の高温・多雨

ヨーロッパ西部から地中海沿岸にかけて高温となった。また、1月から少雨が続いたヨーロッパ西部で多雨となり、フランスのボルドーで月降水量158 mm(平年比205%)。ロシア西部でも月降水量が多く、オネガ川で洪水による被害が報じられた。

④ 北アメリカ西部の高温

⑤ アメリカ合衆国東部の低温

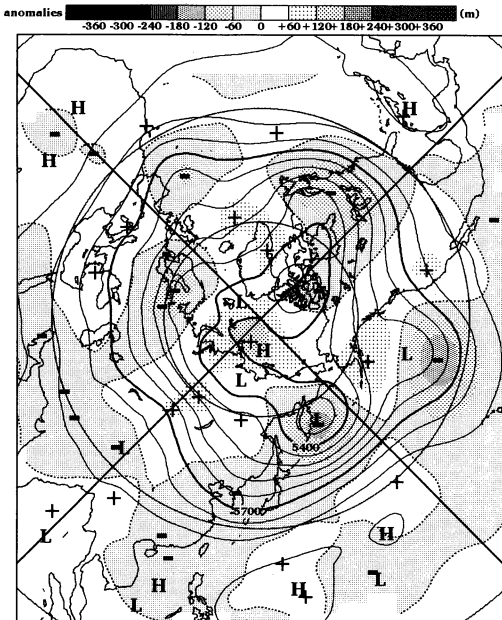
月平均気温は北アメリカ西部とカナダ北東部で平年より高く、合衆国東部で低かった。月降水量は合衆国東部で多く、カナダ中部から合衆国中西部、メキシコで少なかった。先月中旬から続いていたレッド川下流域の洪水はカナダマニトバ州南部で中旬まで続き、ウイニペグでは3万人近くが避難と伝えられた。

⑥ カリブ海周辺の高温・少雨

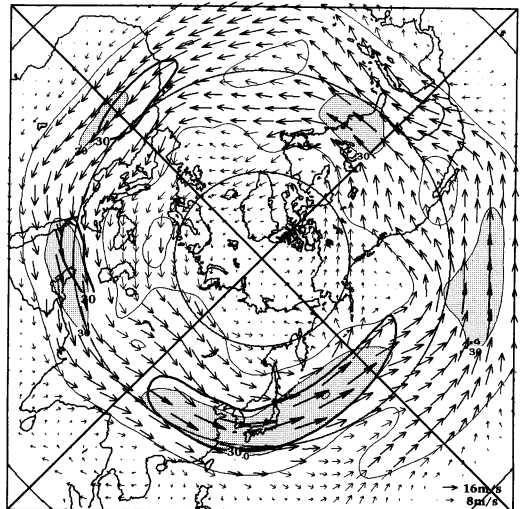
⑦ 南アメリカ南部の高温

月平均気温がアルゼンチン北部、南アメリカ太平洋岸で平年より高く、チリのアントファガスタで月平均気温17.6°C (平年差+2.3°C)。

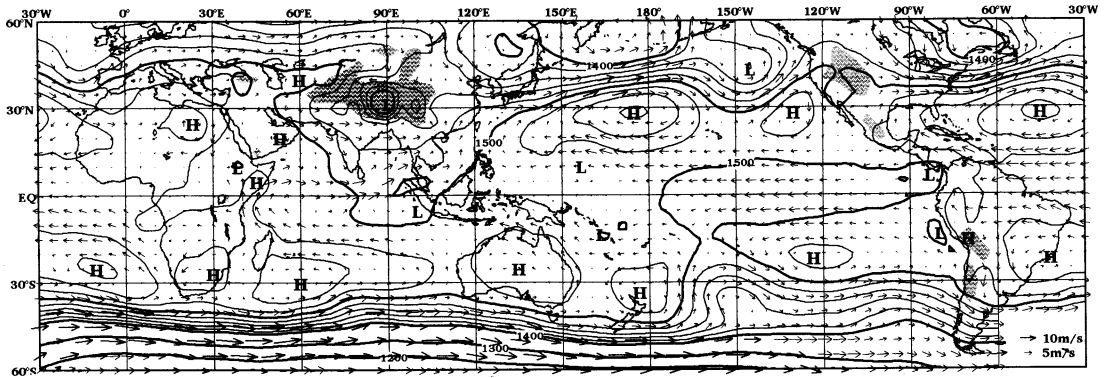
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 経田正幸)



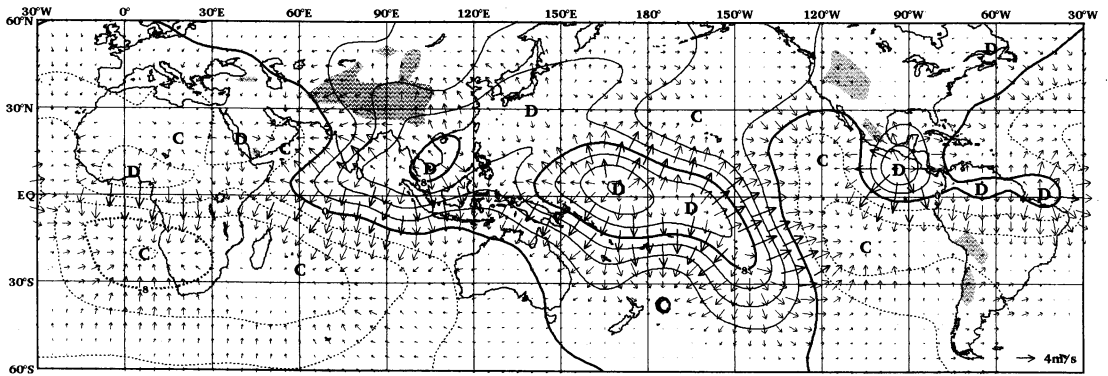
1997年5月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m。平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。



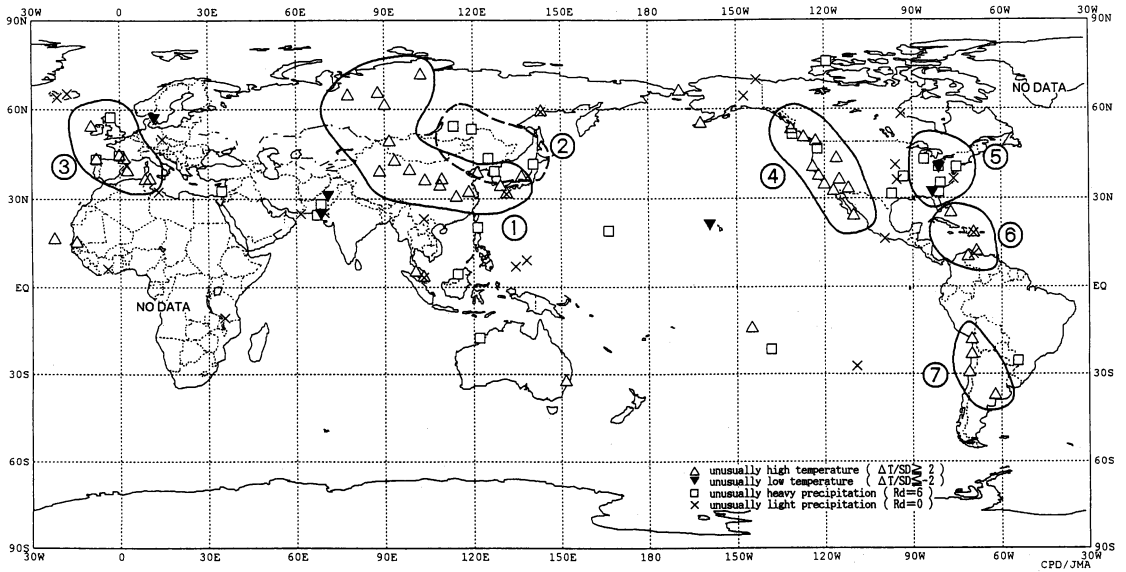
1997年5月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル等値線間隔は20 m/s。陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979～1996年のデータに基づくもの。



1997年5月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1997年5月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年5月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6及び0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.